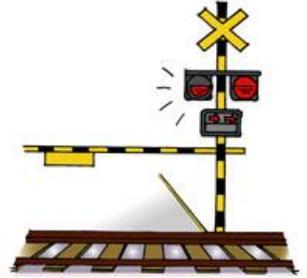


踏切では必ず停止！



令和 5 年 1 月 6 日 (金)、笠間市小原 (J R 常磐線) の踏切で、軽乗用車と普通列車が衝突し、軽乗用車を運転していた女性と同乗の小学生が亡くなる事故が発生しました。

県内では、踏切内で車と列車が衝突する交通死亡事故が過去 5 年間で 3 件発生しています。

踏切は大変危険な場所です。安全を十分に確認してから通行しましょう。



踏切事故防止のポイント



1 一時停止と安全確認は絶対条件

踏切手前で必ず一時停止し、窓を開けるなどして、自分の目と耳で安全を十分に確認しましょう。



2 警報機が鳴り始めたら、踏切内へ立ち入らない

踏切手前で警報機が鳴り始めたら、必ず停止しましょう。無理な横断は大変危険です。急いでいても安全第一に考えましょう。



※県内には、警報機と遮断機のない踏切 (第 4 種踏切) もまだまだ存在します。第 4 種踏切では、より一層慎重な行動が求められます。

3 踏切内で閉じ込められた場合は、慌てず前進 故障等で動けない場合は、非常ボタンを押下

踏切内で閉じ込められたら、ゆっくり前進し、遮断機を上押しして脱出しましょう。

立ち往生して動けないときは、警報機に設置されている非常ボタンを押すか、非常ボタンがない場所では、車両備え付けの「発炎筒」を使用して接近する列車に異常を知らせましょう。